

1 課 現場の 25 答え（使徒13:5-12）

ポイント「聖霊の働き」

1 課では、偽りの預言をする偽預言者が出ます。

使徒13:6,8

6/ 島全体を巡回して、パポスまで行ったところ、にせ預言者で、名をバルイエスというユダヤ人の魔術師に会った。

8/ ところが、魔術師エルマ（エルマという名を訳すと魔術師）は、ふたりに反対して、総督を信仰の道から遠ざけようとした。

エルマという魔術師がいます。この人が偽預言者です。

マタイ 24 章を通して黙想したように、終わりのときには、偽預言者たちが多く起こって、多くの人を惑わすというみことばがあります。偽預言者たちがすることは、この世の罪人が要求すること、その人たちが聞きたいことだけを伝えるのです。

聖書を通して確認します。

エレミヤが神様に祈った内容です。

エレミヤ 14:13-14

13 私は言った。「ああ、神、主よ。預言者たちは、『あなたがたは剣を見ず、ききんもあなたがたに起こらない。かえって、わたしはこの所でまことの平安をあなたがたに与える』と人々に言っているではありませんか。」

エレミヤは神様に、偽預言者たちが、このように言っています、神様が聞いておられるのですかと話します。すると、神様が答えられます。

14 主は私に仰せられた。「あの預言者たちは、わたしの名によって偽りを預言している。わたしは彼らを遣わしたこともなく、彼らに命じたこともなく、語ったこともない。彼らは、偽りの幻と、むなしい占いと、自分の心の偽りごとを、あなたがたに預言しているのだ。」

この偽預言者たちは、罪を指摘しません。平安となぐさめだけを伝えます。すべてうまくいきますと言います。

罪を知って、私がどれほど不可能な存在なのかを知るなら、その中で救ってくださった神様の恵みと愛をさらに悟って、それに感謝することができるのです。自分がなにもできない罪人であること、救いはそこから始まります。



この1課で注目する内容は、現場で働かれる聖霊の働きです。

使徒の働き、使徒行伝をも言いますが、これは聖霊行伝と言われるほど、使徒の働き全体を通して聖霊の働きを見ることができます。現場25の答えは聖霊によってなされることです。人、出会い、起こっているすべてのできごと、すべての主体者は神様です。

使徒13:2, 4, 9

2 彼らが主を礼拝し、断食をしていると、聖霊が、「バルナバとサウロをわたしのために聖別して、わたしが召した任務につかせなさい」と言われた。

4 ふたりは聖霊に遣わされて、セルキヤにくだり、そこから船でキプロスに渡った。

9 しかし、サウロ、別名でパウロは、聖霊に満たされ、彼をにらみつけて、聖霊によってのみわざ、働きが使徒の働きの内容です。

神様は、いまでも私たちが知らない神様の時刻表、時間である25の中で、聖霊を通して、みことばを通して働いておられます。

